

異世代ホームシェア(次世代型下宿)

短期宿泊体験

学生モニター募集

異世代ホームシェアとは

一人暮らし等の高齢者が若者に自宅の一室を低家賃で提供する代わりに、若者は高齢者の心の支えになるよう交流しながら同居するという新しい住まい方のカタチ。シニアの一人暮らしは、体調の急変や防犯の面で不安があるものですが、若い人と一緒に生活することが良い刺激となり健康寿命が延びるということ、また自宅での生活で万一のときの不安が解消されるというメリットがあります。

一方、進学などで親元を離れた若者にとって家賃の経済的負担が減り、心おきなく勉学や自己投資に励むことができるということ、シニアの方の知恵や経験を学べるということが期待できます。こうした暮らし方は1990年代から欧州で始まり、近年日本各地でも広まりつつあります。

なお、シニアの方は介護を必要としない方に限って募集しますので、学生が入浴介助などの介護をすることはありません。また、学生を「無料のお手伝いさん」として扱うようなシニア、単に「安いから」とシェアハウスのような感覚で応募する学生など、互助・互敬の精神を持たない方の利用はお断りするなど、ルールづくりを進めています。



体験モニターにご協力ください

当団体では、越谷市における空き家の活用・空き家予防対策を進めてきましたが、異世代ホームシェアが空き家対策だけでなく、単身高齢者の見守り、地域コミュニティの活性化など社会問題を解決する手段につながるものと期待し、事業の可能性を調査研究しております。

その一環で、オーナー・ユーザーの双方が安心してこのシステムを利用いただくために、学生モニターに短期間(2泊3日)のホームシェアを体験していただき、問題点や課題を探ります。

■内 容……単身(または夫婦二人世帯)の高齢者のお宅に学生モニターが2泊3日のホームステイをし、その体験をもとにヒアリング調査にご協力いただきます。(詳しくは裏面をご覧ください。)

■実施期間……令和元年8月1日～12月20日
※オーナー(居室提供者)と学生モニターのご都合の良い日程を設定します。

■報 酬……5,000円(ヒアリング調査のお礼として)

■募集人数……5名

【主催】越谷市住まい・まちづくり協議会 【協力】越谷市大里東自治会

説明会開催

◎日時／令和元年 9月27日(金)

11時～13時

◎場所／越谷市大里東自治会館

(越谷市下間久里564-1)

当日開催される大里自治会主催の食事会に参加していただき、オーナーと学生と一緒に説明を聞き、昼食をとりながら懇談します。

参加お申込み
お問合せ先

越谷市住まい・まちづくり協議会 居住福祉部会(担当:根岸) TEL. 090-8046-6985

※メールでのお問合せは koshigaya.sumamachi@gmail.com

「越谷市住まい・まちづくり協議会」ホームページの問い合わせフォームからもアクセスできます。

学生モニターにお願いする内容・条件

- ① 2泊3日のモニター期間中、朝食・夕食はオーナー（居室提供者）に用意していただきますので、一緒に食べてください。（1日目の夕食、2日目の朝食・夕食、3日目の朝食の計4食）
- ② 日中の過ごし方は特に定めませんが、なるべくコミュニケーションをとるように努めてください。オーナーの許可を得て外出することは可能ですが、午後7時から午前7時までは外出を控えてください。
- ③ モニター期間中、学生モニターは最低2回以上オーナーのお手伝いをしてください。例えば、一緒に食事をつくる、買い物に行く、朝のゴミ出しをする、部屋の掃除をする、お風呂・トイレ掃除をする、庭の手入れを手伝う等々、なんでも構いませんので、オーナーと相談して実施してください。
- ④ モニター期間中、オーナーには居室の提供、浴室・トイレの使用、寝具（敷布団等）や食器などの貸し出しをお願いします。学生モニターは着替えや身の回り品を持ってご参加ください。その他、必要に応じて双方で話し合いの上、対応してください。
- ⑤ 本モニターの目的は、ホームシェア事業を運営する際の参考とするものであるため、ご自分が実際にホームシェアして暮らせるか否かの視点をもって体験してください。モニター終了後のアンケート記入及びモニター体験発表会（後日）の参加にご協力いただきます。



異世代ホームシェアは、両者の相性を見極めることが重要です。

「異世代ホームシェア事業」は、空き室を活用してシニアと学生等との同居によって、共助社会における新たな住まい方を見つけ、空き家予防にもつながる事業です。かつての「下宿」と違い、シニア（オーナー）と学生等の入居者（シェアメイト）が同等の立場で支え合い、毎日を楽しみながら暮らすことができるのがホームシェアです。

当団体では、専属のHSC（ホームシェアコーディネーター）が、同居生活が円滑に進むよう、シニア・学生双方の相談相手となり、同居生活が完了するまでサポートします。

まず、一人暮らし等で空き部屋を貸してくれる高齢者と、安く家を探している学生を募集します。応募があってもすぐに同居が始まるのではなく、HSCが双方の希望を聞いた上で、同居に問題がないかどうかを判断してマッチングをしていきます。また、住み始めてからも定期的に面談をして、第三者的な立場から相談にのりますので安心です。

今回の短期宿泊体験モニターでも、HSCがオーナーと学生モニター双方の希望や条件を聞き取り、マッチングします。 ※オーナーは、単身者または将来の生活に不安をお持ちの高齢夫婦等が対象となります。